

子どもの「生きる力」って？
お母さんも 子どもも
ありのままの自分で大丈夫！
～「森のようちえん」の現場より～

興味のある方、
どなたでも
大歓迎

褒めるだけでなく、勇気づけの育児って？
子どもの命のねっこを輝かせるためには？
自然の中でともに育つ親子を 愛情いっぱい！見守ってきた
'ともちゃん'からの応援メッセージを届けます。

講師 自然育児・森のわらべ多治見園
園長



浅井
智子

8/17 (水)

10:00～受付

10:30～講演会

13:30～15:00 浅井さんとのラン千座談会
(先着 15名～詳細はお問い合わせください～)

場 所

とよま

登米公民館 (和室)

〒987-0702 宮城県登米市登米町寺池目子街井 391

参加費

1000円

(参加費は当日受付にて領収いたします。)

定員

100名 ※お子さんの同伴OK！

(乳児・一緒にお話を聞ける子)

託児

定員 15名 (1人につき 500円-先着順)

場所 - 手のひらに太陽の家(会場より徒歩5分)

※要予約

申込方法・お問合せ

メール orahonowarasuko@gmail.com

未知の森へ入ると、大人でもドキドキしませんか？子どもたちも何が起きるかわからないドキドキを感じる一方、葉っぱや実、枝、虫、花などの自然物を見つけては喜んで驚いたり、拾ったり眺めてみたり…。そして、自然物を「おもちゃ」や「たからもの」にします。何もないところから楽しさを見つけ、考え、遊びを試行錯誤しながら、また考えます。その繰り返しで、自分で考え自分で決められる…「生きる力」を少しずつ育んでいきます。

なぜ森なのか…？森には豊かな時間が流れています。森は様々な感情を受け止め、ありのままの自分であることができます。その中で味わった感情は、まじりつけないクリアな思いです。その思いを時にはお友だちの思いと重ねたり、共有の面白さに気づいたり、葛藤したりしながら心が成長していきます。そして、大人はそんな子どもたちを森の空気の一部となり温かく見守ります。大人が解決方法を伝えるのは簡単。でも、子どもたちが自分で考えられるように…と大人も葛藤します。その繰り返しで大人も成長し、そして、成長する子どもにも触れ「お母さん」である喜びを感じます。それを豊かな四季の中で繰り返します。



～森のようちえん～

…60年ほど前にデンマークの一人のお母さんから始まりました…

講師プロフィール 浅井智子さん

- ・保育園を結婚後退職、我が子を2004年より森のようちえんで育て、母親・スタッフとして携わる。
- ・2009年岐阜県多治見市にて「**自然育児 森のわらべ多治見園**」創設者&園長。
- ・森のようちえん全国ネットワーク初代運営委員（1～3期、6年歴任）。
- ・エリックソン・シュタイナー・アドラー・佐々木正美さん・篠秀夫さんなどから学び続けながら、独自の感性で子どもとお母さんに寄り添い続ける。
- ・2016年1月より母と子の幸せ応援団～ひなたぼっこ～を立ち上げる。（プロフィールより…「良いお母さんでなく、幸せなお母さんを目指す…いいえ、すでにあなたは幸せなお母さんであることに気づけるように「あなたは大丈夫」と応援していきます。」
- ・岐阜県多治見市在住

～過去の浅井さん講演会参加者の感想より～

「子どもが自分で考えて行動できる力を身に付けてほしいと思っています。」
 「保育士をしています。危険回避ばかりしています。矛盾を感じています。」
 「母親の懸命な力が子どもを育てるというお話に勇気づけられました。」
 「子育てについているようなヒントをもらえてよかったです。」



アクセス

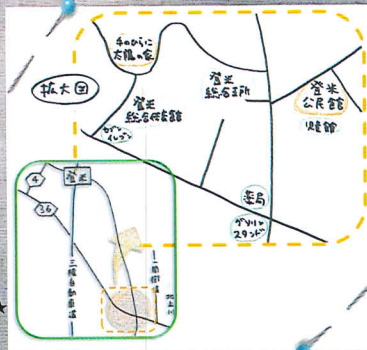
～車～

三陸自動車道の登米ICより3km登米（とよま）方面へ。白い大きな建物の登米総合体育館（蔵ジウム）が目印です。

～公共交通機関 高速バス～

行き 仙台駅前 6:05 発
 ーとよま総合支所 7:37 着
 帰り とよま総合支所 12:20 発
 ー仙台駅前 13:52 着

★片道 1200円(小児半額) 往復乗車券 2000円★
 ※「とよま総合支所」から会場までは徒歩5分程)



「おらほのわらすこを宮城の森で育てる会」とは？

大崎週末型森のようちえん「風の音」創設者の呼びかけに森のようちえん「虹の森」スタッフや元幼稚園教諭や保育士だった主婦の計5人が集まる。宮城の森で子どもたちを育てたい！森で子どもを育てる素晴らしさを伝えたい！家族のために頑張るお母さんを勇気づけたい！子育てで迷っているお母さんを応援したい！などの思いをもって活動しています。